

所管事務調査とは

条例案や予算案の審査と異なり、常任委員会が自主的にテーマを決めて調査を行うものです。本定例会で令和6年度の各常任委員会調査するテーマが決まりました。

市が行っている取り組み内容の確認や、他市へ視察に行き先進事例を研究するなどの様々な調査を行います。最終的に議員間の協議を経て、報告書としてまとめ、市に提出します。

市はそれを受け、施策実施や見直しなどの検討を行い、市議会に報告します。

ホームページにはこれまでの所管事務調査の報告や市長からの処理経過と結果の報告を掲載しています。→→→



文教常任委員会

- ▶令和6年度調査テーマ
- ・産後ケアについて
 - ・不登校対策について
- ▷令和5年度の調査テーマと提言&市長からの回答
- ・GIGAスクール構想の現状について
 - ・教職員の働き方について



提言	令和6年度から、モデル事業の実施を予定しており、今後、モデル事業の効果検証等を適切に行うとともに、教員の部活動指導に関する負担が減少することで、子どもたちの成長や発達をサポートするための、子ども一人一人と向き合う時間を確保することが可能となるように、本市としての最適な実施形態について、研究・検討されたい。
回答	部活動改革を進めていくにあたっては、休日に加えて平日の活動の運営方法、多様な指導人材の確保、活動全体の調整・運営を担う運営団体の設置、持続可能な財源の確保等が課題と考えております。モデル事業の効果検証や先進事例の調査研究を通じて、これらの課題解決に向けた道を探り、本市として最適な実施形態を確立し、教職員が一人ひとりの児童生徒と向き合う時間が確保できるように努めてまいります。

CHECK！ 議会の提案が市政を動かす 常任委員会の所管事務調査

令和6年度の所管事務調査のテーマが決定 市の課題を追求します！

※各常任委員会からの提言と市長からの回答より一部抜粋

総務常任委員会

- ▶令和6年度調査テーマ
- 少子高齢・人口減少社会を見据えたコミュニティづくりについて
- ▷令和5年度の調査テーマと提言&市長からの回答
- 少子高齢・人口減少社会を見据えた地域防災及び地域減災について



提言	今後、令和6年度中に全28地区における地区防災計画の策定を完了することを目指し、取り組みを進めることを求める。また、災害時要配慮者支援の観点から、各地区の高齢化率等の地域特性も踏まえた計画策定について取り組むことを求める。
回答	地域における防災力の向上を図るため、地域の特性や想定される災害を踏まえて、地域住民が主体となって取り組む地区防災計画策定の支援として、危機管理課の支援体制を再整備し、計画策定の働きかけ及び加速化を図るべく、取り組みを進めているところであります。今後も、未取り組み校区について、関係部局と連携し、地域が主体となって策定できるよう積極的に働きかけを行うとともに、各地区の高齢化率等の地域特性も踏まえ、全校区における計画策定をめざします。

健康福祉環境常任委員会

- ▶令和6年度調査テーマ
- ・健康寿命の延伸について（健康課題解決に向けた取り組みについて）
 - ・ごみ減量・環境負荷軽減の取り組みについて
- ▷令和5年度の調査テーマと提言&市長からの回答
- 健康寿命の延伸について（認知症対策）



提言	若年性認知症にも対応できる相談・支援体制を築くとともに、そのニーズを把握し、個別支援や本人・家族交流会、若年性認知症の方が望む、自分らしい生活を続けられるよう、認知症とともに前向きに歩むことができるチーム作りに欠かせない若年性認知症支援コーディネーターの養成等、若年性認知症の特性に配慮した取り組みを充実されたい。
回答	若年性認知症については、認知症地域支援推進員のもとに年間10件ほどの相談がありますが、本市においても、若年性認知症の方の把握が困難な状況であり、まずは、関係機関等の協力も得ながら、その把握に努めてまいります。また、認知症地域支援推進員を中心に、若年性認知症の方が集える場の創設に取り組み、必要な支援等のニーズを確認した上で、その特性に配慮した支援の充実を進めてまいります。

建設産業常任委員会

- ▶令和6年度調査テーマ
- 地域公共交通の課題解消に向けた取り組みについて
- ▷令和5年度の調査テーマと提言&市長からの回答
- ・芸術文化とまちづくりについて
 - ・観光政策について



提言	誰もが芸術文化を気軽に発表できる場の提供やマッチング及びその取り組みの中で、核となるコーディネーターやリーダーとなる人材の発掘や育成に取り組み、行政のみではなく市民を中心に活動の輪が広がるよう環境を整備されたい。
回答	芸術文化活動の有機的なネットワーク「やおうえるかむコモンズ」を充実・発展させていくためのツールとして、「やおうえるかむコモンズポータルサイト」を開設し、サイト上で誰もが芸術文化を気軽に発表できる場の紹介やマッチングができる仕組みを構築してまいります。また、取り組みの核となるコーディネーターやリーダーを育成するため、アートコーディネーター養成講座を開催してまいります。